

下水道機構の『新技術情報』 第120号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

北風が吹く寒い朝でした。ところで沖縄の方言で「北」は「ニシ」といいます。北なのに西なの？とびっくりするかもしれません。ちなみに西は「イリ」、南は「フェー」、東は「アガリ」。皆さんの地域では、何と呼びますか？

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第120号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第58回 下水道新技術セミナー（東京会場 11月22日、大阪会場 11月29日）を開催しました
- ・11/25(月)に新技術設計手法等共同研究委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、12/12(木)に第3審査証明委員会、技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・いちょうの季節(資源循環研究部 T・Oさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、まる子初めてのそば打ち体験をお届けします

■国からの情報

- ・12/6付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。

- 第58回 下水道新技術セミナー（東京会場 11月22日、大阪会場 11月29日）を開催しました

東京会場は東京都港区の発明会館、大阪は大阪市西区大阪科学技術センターで行われ、両会場合わせて約230名の方が出席されました。

今回のテーマは「下水道における革新的技術開発の取り組み」です。現在、新技術の研究開発及び実用化を加速して、下水道事業における大幅なコスト縮減や

再生可能エネルギー創出を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）が実施されています。さらに、従来の下水道計画検討プロセスとは異なる新しいアプローチとして、厳しい地方財政を前提とした投資可能額を設定し、新しい手段を活用した下水道運営（施設建設及び維持管理等）をめざす先進的経営モデルプロジェクトである「コストキャップ型下水道」の調査も開始されました。

本セミナーでは、これら社会情勢の変化に対応した革新的な技術開発の取り組みについてそれぞれの分野等における最新のホットな情報を、基調講演として東京都市大学工学部長岡教授（東京会場）と大阪産業大学人間環境学部津野教授、特別講演として国土交通省国土技術政策総合研究所森田下水道研究官、事例紹介として神戸市建設局下水道河川部保全課坂部係長、積水化学工業株式会社環境・ライフラインカンパニー技術・開発センター渡辺開発企画部長にご紹介いただきました。

●11/25(月)に新技術設計手法等共同研究委員会を開催しました

平成 25 年度第 2 回新技術設計手法等共同研究委員会を開催し、『大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究』についての審議が行われました。本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と当機構の 6 者で実施している共同研究で、今後大規模災害が起きた際に、情報を活用することで下水道の早期機能回復を計る手法について検討を行います。

本研究は継続案件であり、当日は、早期機能回復システムの扱う情報や必要な機能を報告し、活発な議論を行いました。今後は、今回の審議内容をふまえて資料を整理していきます。

_____。〇〇。

機構の動き（機構の行事予定です）

。〇〇。_____

●平成 25 年 12 月 12 日(木) 13:30～17:30

行 事：平成 25 年度 第 3 回第 3 審査証明委員会

場 所：下水道機構 8 階 特別会議室

内 容：平成 25 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議および質疑応答

●平成 25 年 12 月 12 日(木) 17:00～18:00

行 事：第 321 回 技術サロン

場 所：下水道機構 8 階会議室

ゲスト：EICA 東日本大震災調査研究委員会 EICA 米国ハリケーン・サンディ下水
処理施設被害復旧調査団団長 中里卓治氏

テーマ：米国ハリケーン・サンディ被害処理場の調査報告

開催されました。当日は下水道管理者の他、実際に肥料を利用している堆肥クラブや関連企業、日本土壌協会等が参加し熱心な議論が行われました。

日本土壌協会からは、下水汚泥由来肥料が多く野菜品目に対して高い肥効が認められた栽培試験結果が報告されました。利用者からは臭いやマイナスイメージを払拭する取り組みが必要との意見もありました。

今後はマイナスイメージの払拭に向けた「レシピブック（仮）」を作成予定です。

○東京湾再生官民連携フォーラムが設立！東京湾大感謝祭も賑わう【流域管理官】

11月23日（土）に東京湾再生官民連携フォーラムが設立し、団体・個人で224名が参加しました。議長には來生新・放送大学副学長が選出され、「21世紀の日本社会の新しい運動モデルにしたい」と会員に訴えました。

また、同日午後開催された東京湾大感謝祭では約1,200人の来場者があり、江戸前の幸を堪能するなど賑わいました。

官民連携フォーラムの会員は継続的に募集中です。入会費無料ですので組織、個人で是非ご登録ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000091.html

○「下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会 in 熊本」の開催について【土木研究所】

土木研究所が保有する技術の紹介と現場技術者の方々との意見交換を行うことにより、それぞれ下水道管理者が抱える課題を解決するためのヒントを参加者で考える機会とする下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会を下記のとおり開催いたします。

ご関心有る方は是非ともご参加願います。

- ・ 期日：講習会 平成26年2月6日（木） 13：00～16：00
現地視察 平成26年2月7日（金） 9：00～15：30（調整中）
- ・ 場所：講習会 熊本市国際交流会館 4階 第1会議室
現地視察 熊本市内下水処理場（調整中）
- ・ 対象：下水道事業実施市町村、下水道関係公社、コンサルタントや維持管理に関わる技術者など
- ・ 定員：50名
- ・ 主催：独立行政法人 土木研究所
- ・ 後援：熊本県（予定）、熊本市（予定）
- ・ 申し込み：要事前申し込み

プログラム、申し込み方法等の詳細は12月中に下記URLに掲載します。

<http://www.pwri.go.jp/>

（独立行政法人土木研究所材料資源研究グループリサイクルチーム）

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「エッピー祭」の開催について（愛知県下水道科学館）【愛知水と緑の公社】

（12月14日、15日開催）

<http://www.eppy.jp/event/2013/12/14-094023.html>

→11月29日掲載

■12月の技術サロンの開催について【下水道機構】

（12月12日開催）

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

→11月29日掲載

■「第15回エコプロダクツ2013」へに出展について【GKP】

（12月12日～14日開催）

<http://eco-pro.com/eco2013/>

→11月29日掲載

■NPO 21世紀水倶楽部設立10周年記念シンポジウム「地球環境時代の下水道を考える」の開催について【NPO21世紀水倶楽部】

（平成26年1月14日開催）

<http://www.21water.jp/>

→11月22日掲載

=====

【参考情報】

◆田川市が下水道整備着工へ 住民と合意、20-21年度供用開始 [福岡県] <11/29 西日本新聞>

http://www.nishinippon.co.jp/nnp/f_chikuhou/article/55194

◆埼玉県とJICAが包括連携協定<11/29 MSN産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/131129/stm13112914500001-n1.htm>

◆屋根貸し分散型メガソーラー 全量売電12月3日開始 岡谷酸素<11/29 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=30037>

◆乾燥施設整備で覚書 全量搬出へ県と国見町<11/29 福島民友新聞>

<http://www.minyu-net.com/news/topic/131129/topic5.html>

◆ネットに防災地図情報 徳島県<12/5 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tokushima/news/20131204-0YT8T01417.htm>

◆トイレ排水管の接続ミス、多摩川に汚水10年間<12/5 毎日新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20131205-0YT1T00232.htm?from=ylist>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニューズレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
